

“幸せな帰町”復興・再生への道のり



遠藤町長

平成29年第3回広野町議会定例会が9月12日から15日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第2回定例会（6月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

6月20日から29日にかけて、公民館をはじめ各地区集会所を会場に、町政懇談会を開催しました。各担当課長から主な実施事業についての説明を行い、地域の要望などについて町民の方々から聴取し、懇談を行いました。町政懇談会では、質疑応答を取りまとめたものを7月21日の行政区回覧で周知しました。



町政懇談会の様子

7月7日、震災後長らく中止していた行政区回覧を、行政区長などの協力のもと、再開しました。東日本大震災と原子力災害により避難を余儀なくされたから、町民の帰還率が8割を超えた今、この行政区回覧を通して町内における地域コミュニティの再始動と活性化を図っていきます。また、行政区に加入

復興企画課

6月24日からの2日間と8月4日からの3日間、29歳以下のクリエイターによるクリエイティブ・サマーキャンプ事業を実施しました。当事業は、若手クリエイターの育成と被災自治体を応援する事業であり、それぞれのチームが広野町のコマージュ映像を作成し、専門家による審査で決定した優秀作品は渋谷のスクランブル交差点大型スクリーンで11月から1か月間放映され、被災地広野町の魅力を新たな視点で全国へ発信するものであります。

6月20日からの2日間と8月4日からの3日間、29歳以下のクリエイターによるクリエイティブ・サマーキャンプ事業を実施しました。当事業は、若手クリエイターの育成と被災自治体を応援する事業であり、それぞれのチームが広野町のコマージュ映像を作成し、専門家による審査で決定した優秀作品は渋谷のスクランブル交差点大型スクリーンで11月から1か月間放映され、被災地広野町の魅力を新たな視点で全国へ発信するものであります。

これまでの広野町の取り組みに対し、児童文化賞が授与されました。同賞は自治体では兵庫県の「たつの市」に次いでこの受賞となりますが、今後とも世代間の交流や子どもたちの情操教育として継続していきます。

7月19日、広野大使の拡充を図るため、外部による選考委員会を開催しました。選考委員会から13人が選考され、選考された全ての方からも大使就任の承諾を得られたことから、10月1日の委嘱状交付を目的に作業を進めています。また、全国から広野町を応援していただく（仮称）ひろの応援団サポーターズの設立についても準備を進めています。

7月25日、26日には、吉野正芳復興大臣、内閣府原子力災害現地対策本部長高木陽介経済産業副大臣に対し、町議会との合同で「原子力災害に対する生活再建支援」他17項目について要望しました。同時に、東京電力ホールディングス株式会社小早川智明代表執行役社長に対して「福島第一原子力発電所などの安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供」などの要望を実施しました。

7月31日、二ツ沼総合公園パークギャラリーにおいて、東



サマーショートボランティアスクールの様子

環境防災課

6月16日、大雨による洪水、土砂災害、地震、津波などの大規模災害時に備え、住民の命を守るための行動などを示した、携帯用災害時避難マニュアルを配布しました。7月7日、自宅に提示して活用していただくための災害時避難マニュアルを全世帯に配布しました。

7月1日、福島県ふるさと住宅移転補助金、広野町早期帰還移転補助金の対象でありながら、申請期限を過ぎてしまい補助金を受け取れなかった世帯を対象に、補助金の受付を開始しました。

7月13日に乳幼児健診、同日は乳幼児相談会、8月10日には離乳食教室を開催し、他町村の乳幼児も含め延べ42人の参加がありました。また、6月27日、7月11日および25日には、げんキッズを開催し、延べ40人の乳幼児の参加がありました。中でも6月27日には、多くの老人クラブの皆さんにも参加頂き、交流事業として楽しいひとときを過ごしました。

こども家庭課

7月4日、幼稚園保育参観において、認定こども園の計画内容について保護者の皆さんと意見交換を行いました。いただいたご意見を参考にしながら事業を進めていきます。7月21日から8月7日まで実施された社会福祉協議会主催のサマーショートボランティアスクールでは、保育所で13人、児童館で15人の

7月4日、幼稚園保育参観において、認定こども園の計画内容について保護者の皆さんと意見交換を行いました。いただいたご意見を参考にしながら事業を進めていきます。7月21日から8月7日まで実施された社会福祉協議会主催のサマーショートボランティアスクールでは、保育所で13人、児童館で15人の

8月13日から16日の3日間、中央体育館において「大即売会」を実施しました。大即売会ではプレミアム付きひろの商品券が使えることから、多くの町民のご来場を頂きました。

8月8日から10日まで、広野町体育館において次代を担う人材育成を目的とするハイスクールサミットを開催しました。同サミットには全国から約80人が参集し、被災地の現状や課題の把握、今後の復興について活発な意見交換を行いました。



大即売会の様子

健康福祉課

7月4日から8日までの5日間、広野町保健センターにおいて総合検診を実施しました。受診者数は、国保特定健康診査460人、後期高齢者健康診査173人、社保被扶養者特定健康診査74人、その他の検診12人、合計719人が受診しました。この検診結果につきましては、9月6日と8日の2日間、福島県立医科大学および福島県医師会から医師をお招きした「検診結果説明会」において、生活習慣病の予防改善を念頭に、ご指導頂きました。また、受診しなかつた方の受診機会として9月10日



敬老会で余興を楽しむ参加者

9月6日、平成29年度広野町敬老会を町中央体育館において